



三条皓聖君

同級生20人の中で背の順は前から1番か2番。「前にならえ、をしなくていいんだ」と強がっていた。学習塾に週2~3日通っていたが、遊びたい盛り。キエ子さんが車で送ろうとするが、家の中に隠れた。塾のない日は友だちと近所の山で秘密基地をつくっていた。(写真は三條キエ子さん提供)

石巻市の大川小学校から約3キロ海側にあつた自宅の風呂は湯船が大きかった。三條キエ子さん(73)が入浴すると、孫の皓聖君が「一緒にいい?」とよく入つて

大川小学校に「守つてほしかつた」

## 大川小 津波訴訟



### 連載第1部「家族の足跡」[3]

皓聖君の両親は共働きで、キエ子さんの夫も漁師。孫2人の面倒はキエ子さんがみた。夕食を作るのもキエ子さんの仕事。週1

回は自宅の畑でとれた野菜を使ってカレーライスを作り、6人で食卓を囲んだ。皓聖君が9歳になり、3年生を終えようとしていた2011年3月。母親の早苗さん(当時48)が急に、

エビを焼いたりサラダを作ったり、夕食のおかずを作り出しつたり、夕食のおかずを作り出しつたり。朝は「皓ちゃん、バイ

バーイ」と大声で送り出しし、仕事から帰ると、台所で皓聖君をギュッと抱きしめた。「苦しい」と皓聖君が言ふほど、強く。それまでそんなことをしなかつた。

間もなく、津波で家は跡形もなく流された。キエ子

さんは近くの山へ逃げたが、皓聖君と早苗さん、高校1年の兄友輔さん(当時16)は、大川小周辺で遺体を見つかった。早苗さんは、友輔さんを車に乗せて皓聖君を迎えて行き、津波にまれたらしい。

3年前、息子(49)が新居提訴から1年以上が過ぎた。朝は「皓ちゃん、バイバーイ」と大声で送り出しし、仕事から帰ると、台所で皓聖君をギュッと抱きしめた。「苦しい」と皓聖君が言ふほど、強く。それまでそんなことをしなかつた。

間もなく、津波で家は跡形もなく流された。キエ子

さんは、近づくの山へ逃げたが、皓聖君と早苗さん、高校1年の兄友輔さん(当時16)は、大川小周辺で遺体を見つかった。早苗さんは、友輔さんを車に乗せて皓聖君を迎えて行き、津波にまれたらしい。

3人がさっぱり夢に出でてきてくれなくて。たまには会いたいんだけどね

自宅のアトリエで。作品を手に取る  
三條キエ子さん=石巻市桃生町城内

を建てた。3人で仮設から引っ越し、仮壇を押んでうたた寝をしていると、頭や足元をくすぐられた感じがして目が覚めた。

「頭は皓聖、足元は友輔。3人も一緒にいる」

さんは、近づくの山へ逃げたが、皓聖君と早苗さん、高校1年の兄友輔さん(当時16)は、大川小周辺で遺体を見つかった。早苗さんは、友輔さんを車に乗せて皓聖君を迎えて行き、津波にまれたらしい。

(茂木亮信)